

湘南鎌倉総合病院

湘南鎌倉総合病院での内科後期研修を勧める3つの理由

圧倒的な症例数

当院は神奈川県横須賀・三浦・湘南医療圏の中心的な急性期病院（619床）であり、救急車の受け入れ台数は年間13000台にのぼります。同医療圏・近隣医療圏からの紹介患者も多いため、ここではコモンな疾患もレアな疾患も多く経験することができます。

後期研修医は指導医からフィードバックを受けつつ、主治医として責任を持って患者の診療に当たることによって、教科書からは学べない生きた経験を多く積むことができます。

整った教育体制と特色のあるプログラム

当院では、総合内科と各専門内科が協力し、今後始まる新内科専門医制度のプログラムに先駆けて2012年「内科後期研修センター」を作り後期研修医の教育に当たっております。後期研修は、3年かけて各内科および病理、ICU、ERをじっくりローテートできる「総合内科専門コース」と subspecialty 領域を重点的に研修する「専門内科コース」の二つを設けております。プログラムの中には、奄美大島群島や沖縄の離島にて内科専門研修を行うことも必須としており、僻地離島から急性期の大規模病院で働くことができる総合的に診療できる医師の育成を本気で行っています。また今後は、いくつかの大学病院とも連携をして先進的・専門的・学術的見地から研修を行うことのできるプログラムも用意しています。

院内研修では、常勤医として英国出身の医師が教育専任医師として研修医教育に携わっており、常に英語を身近に感じることができることも特徴の1つと言えます。

利便性が良く環境に恵まれている

当院は神奈川県鎌倉市に位置し、電車で横浜まで15分、東京まで40分、羽田空港まで60分と交通の便が良いため、研究会やカンファレンスや学会も多く、出席したい場合には、仕事が終わってからかけつけられます。また、鎌倉市は葉山や箱根・熱海など海や山にも近く、さらに古都鎌倉としての史跡が多く残るなど、住んでいて飽きないとても魅力的な土地です。また女性医師が働きやすい環境作りとして、保育所の完備や時短勤務の相談、ローテーションの相談を随時行っております。